



年末年始ゼロ災害香川推進運動

【期間 平成 29 年 12 月 15 日から平成 30 年 1 月 15 日まで】

『異常なし！ ダブルチェックで念入りに
年末年始もゼロ災害』

年末年始は労働災害の発生要因の増大が懸念されます。

一年の締めくくりを笑顔で送り、災害のない明るい新年を迎えるために、「安全第一」という基本に立ち戻り、経営トップが安全衛生に対する決意を新たにし、次の事項を実行しましょう！

【 職場での重点的な取組事項 】

最重点事項

転倒災害防止対策の徹底「STOP！転倒災害プロジェクト」の実施

転倒の危険個所のチェック、見える化、冬季の転倒災害防止対策の実施

重点項目

- (1) 墜落・転落災害の防止対策の徹底
- (2) はさまれ・巻き込まれ災害の防止対策の徹底
- (3) 交通労働災害防止対策の徹底
- (4) KY(危険予知)活動、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動の徹底
- (5) 機械設備に係る定期自主検査及び作業開始前点検の確実な実施
- (6) 安全衛生パトロールの実施
- (7) 火気の使用時における管理の徹底
- (8) 健康的な生活習慣(睡眠、飲酒)に関する健康指導の実施
- (9) 安全衛生意識の高揚に関する活動の実施

平成 29 年度 年末年始ゼロ災香川推進運動実施要綱

香川労働局

1 趣旨

香川県下の平成 29 年 10 月末現在の労働災害による死亡者数は 9 人で、前年比 3 人増、休業 4 日以上の死傷者数は 840 人で同様に 13 人増となっており、憂慮される状況にある。

また、依然として「墜落・転落災害」、「転倒災害」、「はさまれ・巻き込まれ災害」が高い割合で発生している状況にある。このような状況の中、職場の安全や労働者の健康を確保していくためには、経営トップ自らが先頭に立ち、安全衛生管理体制や安全衛生活動について改めて総点検を行い、リスクアセスメントや安全衛生教育、危険予知活動などの日常的な安全衛生活動を強化していくことが求められる。

とりわけ年末年始は、何かと繁忙な時期であり、普段の作業や生活のリズムが変わりやすいことに加え、事業場、工場が一斉に操業を停止・開始する際や大掃除の際に通常では行わない非定常作業が多くなる時期でもあり、各事業場、職場では、労働災害防止のための特別な配慮が必要となる。

そこで、香川労働局、各労働基準監督署、災害防止団体等では、一年の締めくくりを笑顔で送り、災害のない明るい新年を迎えるために、

『異常なし！ ダブルチェックで念入りに 年末年始もゼロ災害』

の標語の下、中央労働災害防止協会が主唱する「平成 29 年度年末年始無災害運動」と呼応し、本年度の年末年始ゼロ災香川推進運動を展開することとする。

2 実施期間

平成 29 年 12 月 15 日から平成 30 年 1 月 15 日まで

3 主唱者

香川労働局、各労働基準監督署

4 実施者

各事業場

5 主唱者の実施事項

- (1) 香川労働局、労働基準監督署による事業場に対する周知・啓発
- (2) 労働基準監督署による安全衛生パトロール
- (3) 労働災害防止団体等を通じた事業場への周知・啓発
- (4) マスコミ、関係行政機関を通じた周知、広報の実施

6 事業場の実施事項

※リーフレット表面の【職場での重点的な取組事項】のとおり